



労基署便り 令和3年度 No.1

大河原労働基準監督署



◎ 令和2年労働災害発生状況（速報）

	大河原署管内			宮城局管内		
	R1	R2	前年比	R1	R2	前年比
製造業 計	60 (1)	58 (1)	-2	465 (1)	464 (5)	-1
食料品製造業	17	15	-2	223	194 (2)	-29
機械金属製造業	27 (1)	20 (1)	-7	121 (1)	124 (3)	3
建設業 計	27 (1)	22	-5	352 (7)	283 (3)	-69
土木工事業	12 (1)	5	-7	111 (4)	94 (1)	-17
建築工事業	14	12	-2	191 (3)	156 (2)	-35
その他の建設	1	5	4	50	33	-17
運輸交通業 計	8	10	2	386 (2)	338 (2)	-48
陸上貨物運送業	8	13	5	349 (2)	317 (2)	-32
商業	26	26	—	436	413 (1)	-23
社会福祉施設	10	18	8	208	232	24
全産業	182 (2)	173 (3)	-9	2432 (17)	2407 (15)	-25

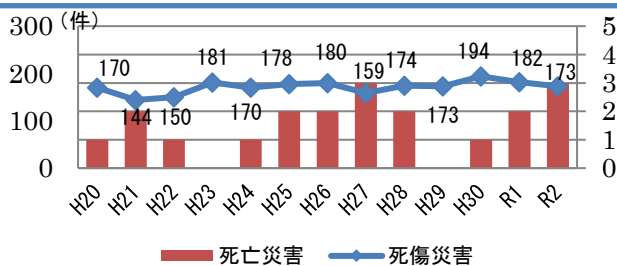
※休業4日以上死傷労働災害（労働者死傷病報告による）。前年比は死傷者数。（人）

※（ ）は内数で死亡者数 ※機械金属製造業は、鉄鋼業・金属製品・一般機械・電気機械・輸送機械製造業の合計。

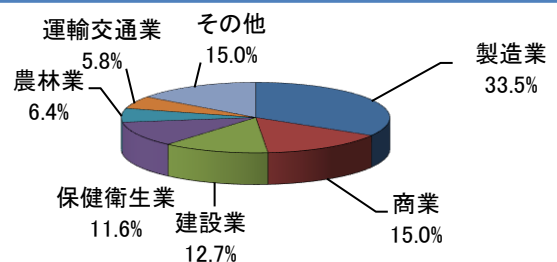
令和2年の労働災害発生状況（全産業）について

令和2年における労働災害（休業4日以上）は173件で、前年と比べ9件（4.9%）減少し、死亡災害は製造業、林業、農業で各1件発生しました。事故の型別では転倒災害、墜落・転落災害が多い状況となりました。また、年齢別では50歳以上が過半数を占め、被災程度別では休業1か月以上の災害が過半数となりました（以下のグラフを参照ください）。年度当初に当たり、事業場の安全管理体制、設備の安全対策、教育の実施状況、資格者の充足状況などをご確認いただき、職場の安全管理体制の充足を図ってください。

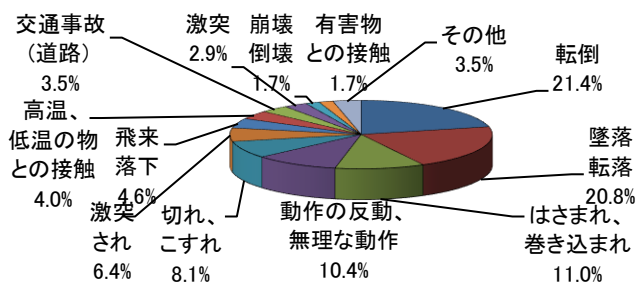
労働災害の推移



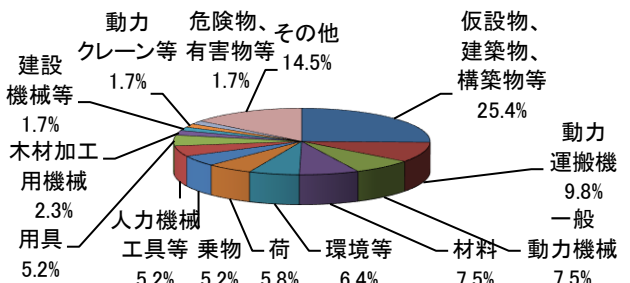
業種別労働災害発生状況



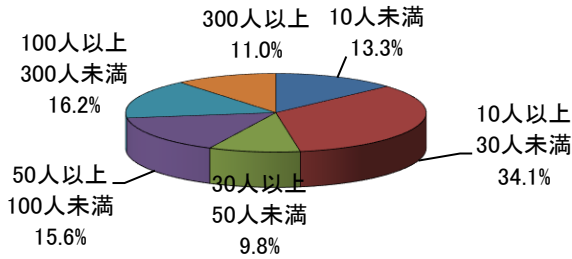
事故の型別



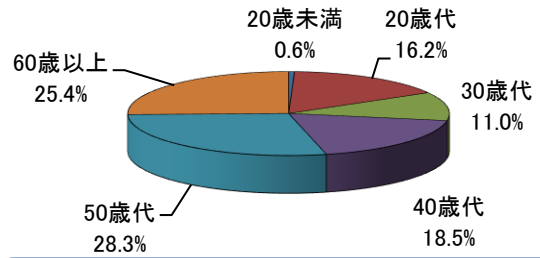
起因物別



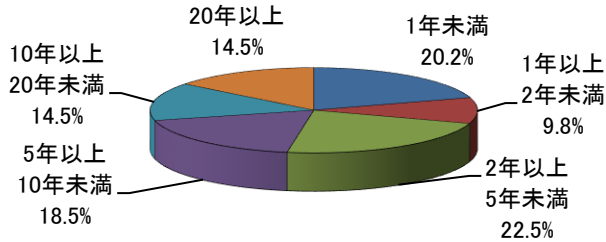
事業場規模別



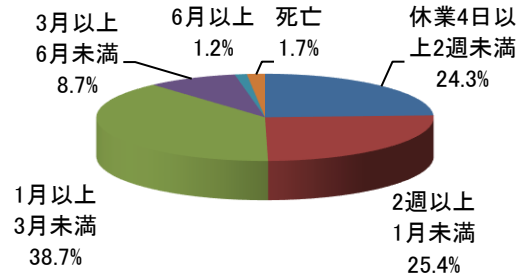
年齢別



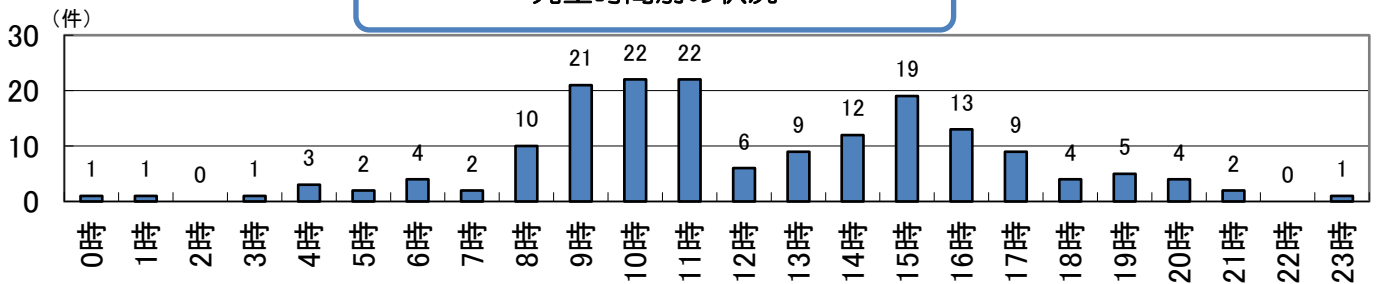
経験年数別



被災程度別



発生時間別の状況



「ゼロ災トライアル100」参加募集のお知らせ

今年度も当署と（公社）宮城労働基準協会大河原支部との共催で、「ゼロ災トライアル100」を実施します。令和3年6月1日（火）から令和3年9月8日（水）の100日間です。ぜひエントリーしていただき、これを機会に経営トップの安全衛生に対する方針の表明、安全衛生管理体制の整備、安全衛生パトロールの実施など各種安全衛生管理活動を行い、労働災害防止に係る啓蒙を図り、労使一丸となって労働災害防止に取り組んでください。詳しくは、以下の宮城労働基準協会大河原支部ホームページをご覧ください。

<http://www.rouki.or.jp/oogawara/documents/20200601zerosaizissi.pdf>

労働保険の手続きも電子申請が便利です



① 労働保険手続きは電子申請で行えば、前年度の情報を取り込み、入力チェック機能や自動計算機能で記入漏れや記入ミスを防いで簡単スピーディです。また、いつでもどこでも手続きでき、申請書や届出用紙も入手不要で時間やコストが削減できます。



労働保険の電子申請

検索

② 1つのID・パスワードで様々な行政サービスにログインできます。労働保険関係手続（一部を除く）について、「G Biz ID」を利用して手続きできます。また、各種補助金や社会保険、雇用保険など様々な申請に対応しています。

詳しくは、<http://gbiz-id.go.jp/top/index.html>

発行：大河原労働基準監督署（TEL0224-53-2154）柴田郡大河原町字新東 24-25

労働条件や安全衛生の確保・改善、労災補償等についてご不明な点やお悩みのことがあれば、お気軽にご相談ください。
労働条件関係は監督係、労働災害防止・健康確保対策関係は安全衛生係、労働保険料・労働保険関係は労災係まで。